

# 緊急事態発生

緊急な事態が発生した。

我々は教壇に及ぶ理事会との団交の中でその犯罪性を知らされた。理事会は、我々と話し合うのを拒んだことも、そして教壇者の名に於いて嘘をいつたことも、

しかし我々と理事会との向のこれら懸案は何ら解決されてはいし、理事の責任の向も解決されてはいない。その様の中にあつて、さらに十月四日、緊急な事態が発生し、学生会中央執行委員はそれをキヤッシュした。

事態は理事会の学校経営態度をさらけだし、教育方針そのあやまつていゝる方針の出所をわからした。我々はいかりにもえざるを得ない。

この様なことをして来た法人理事会をこれを構成してきた各理事を、毎回の劣じ働上げの十担がこの様な理事会の態度にあつても見のがせない事である。事実は団交の席上で明らかにされるだろう。我々の抱いていた、理事会への民主的幻想はもはやなくなつてゐる。その上にムチとアメの両面政策の法方を駆使し、一方を権力をほいまくらして来た。この明治大学理事会の欺瞞性が決定的に暴露される。理事会が当の理事会によつてひきおこされた。事態は明らかにこれねばならない。明らかにされた事態をもつて理事会の責任を求めよう。

明治大学の一切の運営、経営、教育は理事会が行つてゐる。その理事会は責任をもつてその任にあつて来たはずであつた。そして今もまた、責任をもつてその任を遂行してゐるはずである。その理事会が、責任をもつて賤政

## 当局は七日の団交に必ず応ず

問題を検討して来たはずであつた。しかし、その責任性そのものに疑問が生じ、責任の根拠がなくなつたとすれば、理事会は不信感をもちたれども、やむを得ない。至理事に呼びかけ、訴える。

我々が抱いてゐる疑念に事をもちて答えてほしい。我々学生の不信任を一層深めさせないこと。我々学生に、やむを得ない方法を取らせたいこと。それは唯一、至理事が七日四時から、団交に参加し、一切の問題に、真実をもつて答え、真実をもつて責任ある態度をとるしかない。

至学友、至教職員に呼びかける。責任ある理事会ならば、我々の生活と権利に関する、学校の運営を任せよう。しかし、その責任に疑向が生じ、根拠を失つに至つた事態が発生した。至学友は、そして、至教職員は、七日四時から団交に結束し、理事会の責任を追求し、明確な態度を取らせよう。

日時 10月7日(金)  
午後4時より  
場所 本校  
学生公会館  
五階ホール

学生会中央執行委員会